

ふるさと岩手応援寄付

～令和7年度事業実施状況のお知らせ～



御挨拶

岩手県政150周年記念（R4～R8）

令和7年度に御寄附頂いた皆様

日頃から、岩手県を応援いただき、ありがとうございます。

令和7年度は、ふるさと岩手応援寄附に、6,039件、233,147,737円もの御支援をいただきました。本県への温かい御寄附を賜りましたことに心から御礼申し上げます。

皆様の「岩手県を応援したい！」というお気持ちを頂戴し、いただきました御寄附を大切に活用させていただきました。 寄附金を活用した取組の実施状況を取りまとめましたので、御一読いただければ幸いです。

岩手県は、「2023年に行くべき52カ所」に盛岡市が選出されたニューヨーク・タイムズ紙の効果により、インバウンドを含め県外の多くの方々に注目されています。また、昨年に引き続き県政150周年を記念し、様々なイベントを開催するなど、これからも活気ある岩手県を発信して参ります。

今後も、観光に、交流に、ふるさと納税に、是非本県との関わりを深めていただきたく思います。 引き続き、御支援のほどよろしくお願いいたします。

令和8年11月　岩手県

岩手県への御寄附の御案内

岩手県では、県への直接のお申し込みのほか、ふるさと納税ポータルサイトも活用しながら、御寄附の募集を承っております。引き続き、皆様から御支援をいただけますと幸いです。

【岩手県ホームページ】
「ふるさと岩手応援寄付」について、詳しく御紹介しています。
これまでの寄附金の活用状況も掲載しています。
ぜひご覧ください。

ふるさと岩手応援寄付

電子決済（クレジットカード払、コンビニ決済、キャリア決済など）による御寄附は、次のふるさと納税ポータルサイトにて承っております。

ふるさとチョイス

さとふる

地域から日本を元気に！ 楽天ふるさと納税

ふるさと納税なら ふるなび

ふるなびトラベル
県内指定の宿泊施設等で使えるポイント型返礼品

生産者とつながる ふるさと納税 ポケマル

JALふるさと納税

ANAのふるさと納税

まちのわ ふるさと納税

目 次

No.	項　目	ページ
Ⅰ	事業応援型寄附	
1	いわての学び希望基金	・・・ 1
2	東日本大震災津波伝承館の運営	・・・ 1
3	いわて子どもの森遊具充実	・・・ 2
4	子どもの居場所づくり応援	・・・ 2
5	動物愛護・適正飼養の普及啓発	・・・ 3
6	いわての教育の充実	・・・ 3
7	岩手県立大学の未来創造への貢献	・・・ 4
8	岩手と世界をつなぐ人材の育成	・・・ 4
9	三陸鉄道の支援	・・・ 5
10	地域公共交通の維持・確保	・・・ 5
11	インクルーシブな公園プロジェクト	・・・ 6
12	地震・津波に備える防災体制づくり	・・・ 6
13	いわて産業人材奨学金返還支援基金	・・・ 7
14	伝統工芸、漆、アパレル等地場産業	・・・ 7
15	岩手の農林水産業を応援	・・・ 8
16	いわての世界遺産の保存と活用	・・・ 8
17	海洋ごみ対策	・・・ 9
18	いわて社会貢献・復興活動支援基金	・・・ 9
19	ILCプロジェクト	・・・10
20	北上川バレープロジェクト	・・・10
21	三陸防災復興ゾーンプロジェクト	・・・11
22	北いわて産業・社会革新ゾーンプロジェクト	・・・11
Ⅱ	分野別型寄附の活用状況	・・・12
（お知らせ）		
	岩手とのつながりを感じていただくために	・・・13～14

1.いわての学び希望基金

令和7年度受入実績　28,442,139円

東日本大震災津波により被災した子どもたちが、自らの希望に沿った学校を卒業し、社会人として独り立ちするまで、息の長い支援を行うことを目的としており、いただいた御寄附は次のような修学の支援、教育の充実を図るための事業に活用しました。

○ **奨学金給付事業費**
震災により親を失った生徒等に対して奨学金を給付し、「暮らし」と「学び」の支援を行いました。

○ **教科書購入費等給付事業費**
被災した高校生に対し、入学一時金や教科書購入費、修学旅行費、高校等入学一時金などを支援しました。

○ **被災地生徒運動部活動支援事業費**
運動部活動において、被災した中学生、高校生がこれまでと変わらず県内外の大会に参加するために必要な交通費等を支援しました。

○ **被災地生徒文化活動支援事業費**
文化活動において、被災した中学生、高校生がこれまでと変わらず県内外の大会やセミナーに参加するために必要な交通費等を支援しました。

○ **被災地通学支援事業費補助**
被災した生徒等に対する通学の支援を図るため、通学定期券購入費の助成を行いました。


復興教育の学習風景


文化部活動の様子


東日本大震災津波伝承館での学習風景

担当：復興防災部復興推進課推進担当　電話：019-629-6935

2.東日本大震災津波伝承館の運営

令和7年度活用実績　36,107,897円

東日本大震災津波伝承館では「命を守り、海と大地と共に生きる」を展示テーマに、東日本大震災津波の悲しみを二度と繰り返さないために、津波の映像や写真、被災者の声や被災物の展示を通して、震災の事実と教訓を国内外及び次世代に伝承しています。いただいた御寄附は次のような事業に活用しました。

○企画展示の開催
発災から復興に至るまでの状況や、防災・減災に関する情報など常設展示の内容を補う企画展示を開催し、来館者に「学びの場」を提供しました。



○震災学習プログラム教材の作成・配付
震災津波の体験、記憶がない児童・生徒にも展示内容の理解が深まるよう、震災津波伝承ノート（中高生用）及び震災津波学習ノート（小学生用）を作成し配付しました。



担当：東日本大震災津波伝承館　電話：0192-47-4455

3.いわて子どもの森遊具充実

令和7年度受入実績　10,237,960円

いわて子どもの森は、自然の中でのびのびと自由に遊びやふれあい体験ができる全県的な子どもの健全育成の拠点として、平成15年5月5日に開館した大型児童館です。いただいた御寄附は次のような事業に活用しました。

○　ウッドデッキメンテナンス

木製アスレチックと同エリアに向かう途中にあるウッドデッキのメンテナンスを行い、子どもたちの安全確保につながる整備を行いました。





メンテナンスしたウッドデッキ等

担当：保健福祉部子ども子育て支援室子ども家庭担当　電話：019-629-5457

4.子どもの居場所づくり応援

令和7年度受入実績　23,310,569円

子ども食堂や学習支援など、子どもが一人でも安心して過ごすことができ、食事や交流、活動を通じて様々なことを学ぶことができる「子どもの居場所」の立ち上げの支援や、「貧困の連鎖」を防止するための学習会・個別指導等に取り組んでおり、いただいた御寄附は次のような事業に活用しました。

①　子どもの未来応援地域ネットワーク形成支援事業費

子ども食堂や学習支援などを行う「子どもの居場所」の取組拡大を図るため、「子どもの居場所ネットワークいわて」を通じて、新規開設を目指す団体の支援に加え、食材などの寄附を行う企業・個人と子ども食堂などとのマッチングを行いました。

また、取組の継続やさらなる充実のため、子ども食堂などを運営する団体に向けて、研修の実施や相談支援を行いました。



子ども食堂の取組の様子

②　子どもの学習・生活支援事業費

貧困による学習機会の格差を解消するため、生活に困窮する世帯等の子どもを対象に学習会及び個別指導を実施し、自主学習への助言指導、進路相談・悩み相談等に対応しました。

また、学習支援に加え、生活習慣・育成環境を改善する支援を行うことにより、「子どもを入り口とした世帯全体への支援」を行いました。



学習会の取組の様子

担当：①保健福祉部子ども子育て支援室次世代育成担当　電話：019-629-5494
②保健福祉部地域福祉課指導生保担当　電話：019-629-5425

5.動物愛護・適正飼養の普及啓発

令和7年度受入実績　6,411,210円

動物愛護関連行事を開催し、動物愛護思想の普及啓発に取り組むとともに、動物愛護団体等と連携した譲渡会の開催など、積極的な譲渡の取組や負傷した動物の治療に活用しました。

○動物愛護週間行事
動物愛護思想や適正飼養の関心と理解を深め、より多くの県民に対する普及啓発を行うため、動物愛護週間行事を開催しました。動物を通じた命の大切さや共につながり支えあう心の学びにつながっています。



動物愛護週間フェスティバルの様子

○動物愛護団体等と連携した譲渡会
保健所に引き取られたり、飼い主に返還されなかった動物の譲渡会を動物愛護団体等と連携し定期的に開催しています。新しい飼い主の方への譲渡が殺処分の減少につながっています。



保護猫の譲渡会の様子

担当:環境生活部県民くらしの安全課食の安全安心担当　電話: 019-629-5322

6.いわての教育の充実

令和7年度受入実績　16,273,560円

岩手の未来を担う子どもたちが自身の夢や希望に向かって勉強や部活動に取り組むため、県立学校の生徒が授業で使用する設備や部活動で使用する備品の整備など、教育環境の充実を図る事業を行っており、いただいた御寄附は次のような事業に活用しました。

○　部活動設備整備費
生徒がスポーツ・文化・科学・芸術などの活動を通じて楽しさや喜びを味わい、豊かな学校生活を自ら創造できるよう、部活動に必要な備品を整備しました。



部活動風景

○　産業教育設備整備費
農業・工業・商業・水産業その他の産業の即戦力となる人材を育成するため、高等学校における産業教育に必要な設備を整備しました。



授業風景

担当:教育委員会事務局教育企画室施設整備管財担当　電話:019-629-6152

7.岩手県立大学の未来創造への貢献

令和7年度受入実績　2,837,010円

岩手県立大学では、地域に根差した高等教育機関としての役割を充実・強化し、地域に貢献する取組を実践しており、各市町村における地方創生の取組をはじめ地域の課題解決や産業振興に向けた取組など、岩手県立大学が県民のシンクタンクとして地域の未来創造に貢献する取組を推進するための事業に活用しました。

○　公立大学法人岩手県立大学運営費交付金

岩手県立大学では、県内のものづくり産業の生産性・付加価値向上に繋がる産学共同研究や高度技術者の育成を推進するため「いわてものづくり・ソフトウェア融合テクノロジーセンター」（通称：i－MOS）を設置・運営しています。また、地域貢献を目的とする研究を推進し、当該研究の成果普及を促進するため「地域政策研究センター」を設置・運営し、地域が抱える課題に対応した研究や産学公連携の取組を推進しており、県は運営費交付金でこれらの取組を支援しました。



i－MOS
高度技術者養成講習会の様子





地域課題解決に向けた協働研究の様子

担当：ふるさと振興部学事振興課学事企画担当　電話：019-629-5045

8.岩手と世界をつなぐ人材の育成

令和7年度受入実績　4,570,210円

地域を支える国際人材を育成するための高校生の海外派遣研修事業に活用したほか、国際的な視野を持って地域で活躍する人材の育成や県内定着を進めるため、産学官が一体となった「いわてグローカル人材育成推進協議会」で実施する大学生の留学支援や外国人留学生等の県内就職支援、県内企業との交流機会の創出のための事業に活用しました。

○　高校生海外派遣研修（北米コース）

地域を支える国際人材を育成するため、高校生を対象とした海外派遣研修を実施しました。



海外派遣研修の様子

○　グローバル人材を対象としたキャリアフェア

外国人留学生等の県内の就職・定着支援を目的として、「グローバルキャリアフェア」を開催しました。



グローバルキャリアフェアの様子

担当：ふるさと振興部国際室　電話：019-629-5765

9.三陸鉄道の支援

令和7年度受入実績　12,617,169円

三陸鉄道の持続的な運営を支援するため、関係市町村と連携しながら、岩手県三陸鉄道強化促進協議会を通じた利用促進に取り組んでいます。

○　誘客強化等に向けた取組への支援

三陸鉄道への乗車機会の創出や沿線地域の魅力を発信するため、企画列車の運行等に合わせた市町村によるPRイベント等を支援しました。

このほか、外国人旅行者を含む幅広い利用者の利便性向上を図るため、駅構内の案内標示の更新や自動翻訳機の導入費用等を支援しました。



PRイベントの様子（宮古駅）



更新した宮古駅構内の案内標示

担当：ふるさと振興部交通政策室地域鉄道担当　電話：019-629-5204

10.地域公共交通の維持・確保

令和7年度受入実績　　5,273,210円

いただいた御寄付は、買い物や通院、通学など日常生活に欠かすことのできない重要な移動手段である地域公共交通の維持・確保に要する経費や、持続可能な公共交通体系の構築に向けた取組に活用しました。

○並行在来線対策事業費

IGRいわて銀河鉄道株式会社による鉄道事業の経営の安定化に活用しました。

○地域バス交通支援事業費補助

市町村が行う生活交通路線の維持・確保に対する支援に活用しました。

○地域公共交通再編・活性化推進事業費

市町村が行う地域公共交通ネットワークの再編や利用促進の取組などを支援しました。



IGRいわて銀河鉄道







岩手県を運行する乗合バス

担当：ふるさと振興部交通政策室　電話：019-629-5206

11.インクルーシブな公園プロジェクト

令和7年度受入実績　2,094,210円

県立都市公園は、広域的なレクリエーション利用を目的に整備した施設である広域公園2か所、東日本大震災津波の犠牲者を追悼・鎮魂し震災の事実と教訓を継承するための復興祈念公園1か所、都市緑地が1か所あります。
みんなが居心地の良い遊びや学びの環境を提供し、自然と共生した快適な公園とするため、誰もを包括するインクルーシブな公園を目指し、老朽化した公園施設の更新等に活用しました。

○　年齢や障がいの有無にかかわらず、誰もが花や緑に親しめる環境づくりを目的として、車いす利用者も観賞や植栽活動に参加しやすいインクルーシブな花壇を整備しました。



花壇整備状況
御所湖広域公園（乗り物広場）

県土整備部都市計画課　電話：019-629-5890

12. 地震・津波に備える防災体制づくり

令和7年度受入実績　6,254,210円

日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震からの津波被害による犠牲者ゼロを目指すため、沿岸市町村が行う避難対策や自主防災組織の育成・活性化などの取組を支援する事業に活用しました。

○　避難速度の向上のための事業
自主防災組織の活動のために必要な資機材の整備を支援しました。



○　津波浸水想定に伴う新たな防災対策のための事業
避難所に備蓄する要配慮者用物品（車椅子等）の整備を支援しました。



担当：復興防災部防災課　電話：019-629-5155

13.いわて産業人材奨学金返還支援制度

令和7年度受入実績　2,671,210円

将来の本県産業を担うリーダーとなる人材を確保し、地域産業の高度化と持続的な発展を推進していくため、学生が大学などを卒業後又は既卒者がU・Iターンを希望した場合に、県内企業に一定期間就業することを条件に奨学金の返還支援を行っており、いただいた御寄附は助成金の一部として活用しました。

（独法）日本学生支援機構の第一種及び第二種奨学金の貸与を受けている支援対象者に対し、返還金額の1/2（最大250万円）まで助成しています。



収入額の少ない就業当初の負担を少しでも軽減するため、限度額の範囲内で、就業1年目から返還額と同額を助成しています。



担当：商工労働観光部ものづくり自動車産業振興室　電話：019-629-5552

14.「伝統工芸産業、漆産業、アパレル産業支援」に活用

令和7年度受入実績　3,069,210円

伝統工芸や漆、アパレルなどの本県の地場産業の持続的な発展に向けて、商品開発や販路拡大、後継者育成など、事業者の経営力強化を支援しています。また、本県の魅力を広く発信し、岩手ファンの獲得・拡大を推進するため、国内外に向けた効果的なプロモーションや情報発信に取り組んでおり、いただいた御寄附は、次のような事業に活用しました。

○　いわてアパレル産業経営力強化支援

首都圏のアパレルメーカーや商社など多様な取引先とのビジネスチャンスを拡大するため、東京都内において県内縫製事業者を対象とした商談会を開催しました。



○　地場産業アドバイザーによる商品開発・販路開拓支援

事業者の個別ニーズに応じて専門家を派遣し、助言や指導等による課題解決に向けた支援を行いました。



担当：商工労働観光部産業経済交流課　電話：019-629-5535

15. 岩手の農林水産業を応援

令和7年度受入実績　8,755,904円

本県農業の次代を担う意欲ある新規就農者の確保・育成や、安全・安心で高品質な畜産物の安定生産に重要な役割を担う産業動物獣医師の確保、地域で活躍する女性農林漁業者の育成に取り組んでおり、いただいた御寄付は、次の事業に活用しました。

① **新規就農総合対策事業費**
　新規就農者の確保・育成を図るため、市町村、農業団体、教育機関等と連携した就農促進活動のほか、若者の就農意欲の喚起に向けた取組や、新規就農者等を対象とした農業研修等の事業に取り組みました。

② **獣医師確保対策事業費**
　安全・安心で高品質な畜産物の安定生産に重要な役割を担う産業動物獣医師を確保するため、獣医学生等への修学資金の貸付や県内への就業対策等に取り組みました。

③ **幸せ創る女性農林漁業者育成事業費**
　本県農林水産業をけん引する女性農林漁業者を育成するため、女性グループの経営力・自主企画力向上に向けた取組や若手女性リーダー育成セミナーの開催などに取り組みました。

① 新規就農総合対策事業費



② 獣医師確保対策事業費



③ 幸せ創る女性農林漁業者育成事業費



担当：①③農林水産部農業普及技術課　電話：019-629-5654
②農林水産部畜産課　電話：019-629-5722

16. いわての世界遺産の保存と活用

令和7年度受入実績3, 804, 210円

いわての3つの世界遺産「平泉」「橋野鉄鉱山」「御所野遺跡」を、人類共通の宝として未来へ継承していくため、世界遺産の適切な保存管理や価値の普及に取り組んでおり、いただいた御寄附は次のような事業に活用しました。

〇世界遺産出前授業の実施
　県内の小・中・高・特別支援学校において、「世界遺産出前授業」を実施し、学校教育活動を通じた県民の理解増進や保存活用に向けた普及啓発等に取り組みました。



〇価値普及事業の実施
　いわての3つの世界遺産について、広くその価値と魅力を発信し、多くの方に来訪していただけるよう、「いわて世界遺産まつり in 釜石」を開催しました。



担当：文化スポーツ部文化振興課世界遺産担当　電話：019-629-6488

17. 海洋ごみ対策

令和7年度受入実績　3,620,411円

近年、海洋に流出するプラスチックごみなどによる地球規模での海洋環境汚染が進んでおり、岩手県においても海岸における良好な環境を保全するため、漂着したごみの回収・処理や海洋モニタリング調査等を行っています。
いただいた御寄附は次のような事業に活用しました。

○ 河川海岸等維持修繕費
海岸における良好な環境を保全するため、海岸に漂着したごみの回収・処理やモニタリング調査を行いました。


海岸のモニタリング状況


ごみの回収状況

担当：県土整備部河川課　　電話：019-629-5907

18.いわて社会貢献・復興活動支援基金

令和7年度受入実績　3,437,210円

復興支援活動及び地域課題解決に取り組むNPO等への支援として、NPO等の運営基盤を強化することを目的とした事業に取り組んでおり、いただいた御寄附は次のような事業に活用しました。

○ NPO活動交流センター管理運営費
復興支援などを活動目的とするNPO等が目的達成まで安定的な運営ができるよう、団体の運営基盤強化を目的とした各種研修を行いました。


運営基盤強化セミナーの様子

○ NPO等基盤強化事業
県内のNPO等が実施する地域課題解決の取組に対し補助金を支給しました。


補助金を活用して実施した事業の様子

担当：環境生活部若者女性協働推進室　電話：019-629-5199

19.ILCプロジェクト

令和7年度受入実績　2,218,210円

国際協力で建設される世界最先端の研究施設「国際リニアコライダー（ILC）」の実現に向けて、国内外への情報発信、建設候補地として必要となる受入環境整備に向けた調査検討や県内企業の加速器関連産業への参入促進、人材育成の取組など、積極的な活動を展開するため、いただいた御寄附を次のような事業に活用しました。

○　機運醸成に向けた取組

ILC実現に向けた機運の醸成を図るため、県内外のイベントでのブース出展、県内プロスポーツチームと連携したPR、ILC講演会の開催、SNSによる国内外への情報発信等を行いました。



「2026国際宇宙産業展」（東京都）

○　加速器関連産業の振興

県内企業の加速器関連産業への参入促進に向けた、関連企業の技術力向上と人材育成、ILCに関する技術・研究成果の産業化の支援を行いました。


「ILCチャレンジ部」の開催

担当：ILC推進局事業推進課　電話：019-629-5203

20. 北上川バレープロジェクト

令和7年度受入実績　1,413,210円

北上川流域において、自動車や半導体関連産業を中心とした産業集積が進み、新たな雇用の創出が見込まれることを生かし、働きやすく、暮らしやすい、21世紀にふさわしい新しい時代を切り拓く先行モデルとなるゾーンの創造を目指すための事業を行っており、いただいた御寄附は次のような事業に活用しました。

○プロモーション動画及びシンボルマークの制作・発信

北上川バレーの認知度向上と魅力発信を図るため、地域の産業力や豊かな自然環境、暮らしやすさを紹介するプロモーション動画と、プロジェクトを象徴するシンボルマークを制作し、SNS等を通じて県内外に発信しました。



【北上川バレープロモーション動画】

○大学への出前授業の実施

次代の岩手を担う人材の育成と県内定着を促進するため、県内大学の学生を対象に、北上川バレープロジェクトや先端技術を活用する県内企業の取組などを紹介する出前授業を実施しました。



【県内大学での出前授業の様子】

担当：ふるさと振興部地域振興室　　電話：019-629-5184

21.三陸防災復興ゾーンプロジェクト

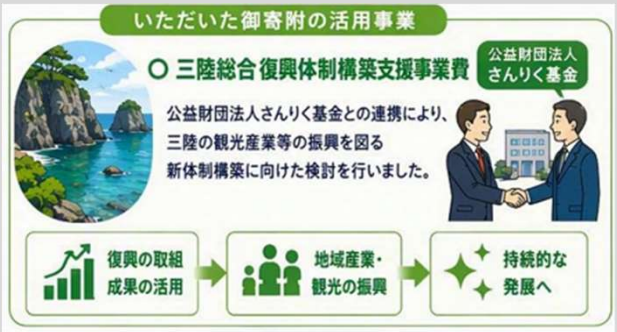
令和7年度受入実績　2,958,210円

三陸防災復興ゾーンプロジェクトは、東日本大震災津波からの復興の取組により大きく進展したまちづくりや交通ネットワーク、港湾機能などを生かした地域産業の振興を図るとともに、三陸防災復興プロジェクト2019等を契機として生み出された効果を持続し、三陸地域の多様な魅力を発信して国内外との交流を活発化することにより 、岩手県と国内外をつなぐ海側の結節点として持続的に発展するゾーンの創造を目指しており、いただいた御寄附は次のような事業に活用しました。

○　三陸総合振興体制構築支援事業費

公益財団法人さんりく基金との連携により、三陸の観光産業等の振興を図る新体制構築に向けた検討を行いました。

・ 三陸DMOセンター検討委員会（全4回開催）において「三陸DMOセンター事業計画（2026.4-2028.3）（案）」をとりまとめ
・ 先進的な取組を実施する団体への視察及び事業化に向けた調査・検討を行うための人材の配置





担当：ふるさと振興部県北・沿岸振興室　県北・沿岸振興担当　電話：019-629-6222

22.北いわて産業・社会革新ゾーンプロジェクト

令和7年度受入実績　2,037,210円

県北圏域をはじめとする北いわての持つポテンシャルを最大限に発揮させる地域振興を図るとともに、人口減少と高齢化、環境問題に対応する社会づくりを一体的に推進することで、あらゆる世代がいきいきと暮らし、持続的に発展する先進的なゾーンの創造を目指す取組を行っており、いただいた御寄附は次のような事業に活用しました。

○　北いわて産業・社会革新推進コンソーシアムシンポジウムの開催

北いわてのイノベーションを推進するため、DXをテーマに、他地域の事例や生成AIを活用した県内企業の取組を紹介するシンポジウムを開催しました。


シンポジウムの開催

○　北いわて生成AI人材育成研修

市町村職員向けの研修をオンラインで開催したほか、二戸・久慈の2会場において、製造業や商工団体など幅広い業種の事業者を対象に、実業務の課題を題材とした生成AI活用研修（初級、中級者向け）を実施しました。


初級者向け研修の様子

担当：ふるさと振興部県北・沿岸振興室　県北・沿岸振興担当　電話：019-629-6222

分野別型寄附の活用状況



魅力あるふるさとづくり

令和7年度受入実績　2,527,210円

被災した沿岸地域や県北地域のにぎわいのあるまちづくり、地域づくりの担い手の育成など魅力あるふるさとづくりを進めるための取組として、将来にわたり持続可能な活力ある地域コミュニティの実現に向けた取組などに活用しました。



文化芸術・スポーツ振興

令和7年度受入実績　4,509,210円

地域の伝統文化をはじめとする文化芸術やスポーツの振興を図り、心豊かでいきいきと暮らせる地域を作るための取組として、県民の文化芸術やスポーツ参加機会の充実に向けた取組などに活用しました。



若者・女性の活躍支援

令和7年度受入実績　3,978,210円

若者たちが躍動する地域、女性が個性と能力を十分に発揮できる社会の形成を進めるための取組として、多様な分野で活躍する若者の交流や女性が活躍できる環境づくりの支援などに活用しました。



保健・医療・福祉充実

令和7年度受入実績　8,143,910円

医療・福祉・介護の充実のための基盤整備、県民の健康増進と長生きを支援するための取組として、医師確保や周産期医療体制の充実を図るための取組などに活用しました。



ふるさとの未来を担う人づくり

令和7年度受入実績　2,995,210円

豊かなふるさとの将来を担う人づくりの推進や教育の振興を図り、地域の活性化を実現するための取組として、県内ものづくり産業や農業を支える人材の育成、生徒一人一人の希望する進路の実現に向けた取組などに活用しました。



関係人口創出・拡大

令和7年度受入実績　2,243,210円

地域と多様に関わる関係人口の創出・拡大を図る取組として、複業や地域課題解決を通じた岩手と関わりを深める取組の展開や、市町村等と連携した情報発信の取組などに活用しました。



いわてまるごと交流促進

令和7年度受入実績　2,030,210円

岩手と国内外の人々との交流が広がる地域づくりのため、いわて花巻空港の利用促進による観光誘客や、SNS等を活用した岩手の魅力発信による岩手ファンの拡大、交流体験による農業・農村の関係人口を拡大する取組などに活用しました。

岩手をデジタル先進地にしたい

令和7年度受入実績　2,993,110円

岩手県内のデジタル化を推進するため、収益性の高いスマート農林水産業の推進に向けた取組などに活用しました。

持続可能なグリーン社会を実現したい

令和7年度受入実績　2,339,200円

県内の脱炭素化を進めるため、家庭、産業・業務、運輸等の各部門における温室効果ガス排出量削減への支援、洋上風力発電などの海洋エネルギーの活用に向けた取組などに活用しました。

岩手とのつながりを感じていただくために

岩手県では、ふるさと岩手応援寄付のほか、皆様に岩手との「つながり」を感じていただくために、次のような取組を進めています。
興味がございましたら、二次元バーコードからご覧ください。

いわてのわ（facebook）

岩手県公式facebookページ「いわてのわ」では、「いわてが好き」「いわてのことをもっと知りたい」といった岩手に関心のある方々に向けて岩手の様々な情報を発信しています。

「いわてのわ」
facebook



いわてのわ（ポータルサイト）

あなたらしい岩手とのつながりを見つけられるポータルサイト。岩手とつながる情報を掲載しています。

「いわてのわ」



いわてのわ（Instagram）

岩手県公式Instagram「いわてのわ」では、岩手県に関するイベント情報や、地域おこし協力隊の活動情報などを発信しています。

「いわてのわ」
Instagram

@IWATE_NO_WA





遠恋複業課

岩手と離れて暮らしながらも、岩手でスキルを生かした複業をしたい！と考えている、複業を通じて岩手とお付き合いしてくださる方を募集しています。

「遠恋複業課」



岩手さちこ

岩手県公認VTuber「岩手 さちこ」の公式Xです。様々な情報をお伝えしています。

「岩手さちこ
岩手県公認VTuber」



コミックいわてWEB

岩手ゆかりの漫画家が描いた、岩手の文化、歴史・伝承、名所、グルメなど岩手の魅力が詰まったマンガを配信しています。

「コミックいわてWEB」



岩手とのつながりを感じていただくために

&iwate

「ふだんが、とくべつ。」をコンセプトに、県内全33市町村と制作した「ビジュアルブック」です。岩手にＩターンした12名の移住ストーリーをまとめました。ウェブ上でもご覧いただけます。

「&iwate」



いわての旅

本州一の広さを誇る岩手県の、四季折々の豊かな自然や3つの世界遺産、魅力的な食・温泉など、観光情報をご紹介しています。

「いわての旅」



いわて食財倶楽部

「山の幸」「海の幸」にあふれるいわては『食財の宝庫』です。いわての県産食材や本県食材を使用する飲食店、イベントなどを紹介しています。

「いわて食財倶楽部」

いわて公式　食の総合ポータルサイト
いわて食財倶楽部
https://www.iwate-syokuzaiclub.com/

いわて若者交流ポータルサイト「Co.Nex.Us -コネクサス-」

様々な若者が活動情報や団体のPRの発信などを行っています。欲しい情報が手に入り、自分も情報の発信者になることができます。

「Co.Nex.Us -コネクサス-」

いわて若者交流ポータルサイト
Co.Nex.Us
IWATE WAKAMONO KOURYU PORTAL SITE

Co・・・一緒に
Nex・・・繋がり
Us・・・岩手県の若者団体や若者

就職情報マッチングサイト「シゴトバクラシバいわて」

求人情報と求人マッチングの両方を兼ね備えた県公式サイトで、常時7,000件以上の求人を掲載しています。

県外の大学生向けの県内企業でのインターンシップ情報や、Z世代向け就活応援メディア「みんなの想職活動」など、学生向け就活コンテンツも充実しています。

「シゴトバクラシバいわて」





移住定住ポータルサイト「イーハトー部に入ろう！」

かつて宮沢賢治が「イーハトーブ」と名付け、心の中の理想郷として愛した岩手県。そんな岩手の中でそれぞれに暮らしを楽しむ一人ひとりのこだわり方・暮らし方を、「部活動」の楽しさに見立て、「イーハトー部」を立ち上げました。

サイトでは、移住イベント情報、移住者インタビュー記事、県・市町村の支援情報などを確認することができます。

「イーハトー部に入ろう！」





明治5年1月8日「盛岡県」から「岩手県」に改称されてから、
令和4年1月をもって150周年を迎えました。
また、明治9年の県域確定から令和8年度で150周年を迎えます。
岩手県では令和4年度から令和8年度までを「県政150周年記念期間」と位置付け、
様々なイベント等を行っていきます。

公式WEBサイト

祝150周年！写真とコメントを投稿してアルバムを作ろう！

いわて150周年おめでとラアルバム

あなたの好きな岩手の風景や、自慢したい岩手のモノ・コトを写真に撮って、フォトアルバムに投稿しませんか？投稿には一言コメントとニックネームが必要で、お一人様何度でも投稿可能です。



＃いわて150

ハッシュタグ「#いわて150」を付けてインスタグラム、ツイッターに投稿して、岩手県政150周年を盛り上げよう！



「150周年記念期間」担当：ふるさと振興部ふるさと振興企画室　電話：019-629-5215

≪問い合わせ先≫　岩手県ふるさと振興部地域振興室地域振興担当
〒020-8570　岩手県盛岡市内丸10-1　　電話：019-629-5184